

令和7年度岩手県指導林家等研修会の開催について（その2）

4 ユースエール認定企業訪問

（1）有限会社二和木材

- ・ 製材工場と山林部で従業員は計56名、うち山林部の従業員は19名。
- ・ 毎年、盛岡農業高校に求人を出品しており、高校生のインターンシップを受け入れ。
- ・ 山林部の若手従業員にはFW※及びFL※の取得を奨励。山林部には盛岡農業高校の先輩と後輩が在籍しており、定着率が高い。
- ・ ユースエール認定は、インターンシップ等で訪問する若者へのPRのため取得。
- ・ UIターンでの就業希望は合同会社木分協で受け入れている。
- ・ 従業員の労務管理は、常に社会保険労務士から助言を受けて実施。

（2）株式会社KURIMOKU

- ・ 製材工場と山林部で従業員は計45名、うち山林部の従業員は6名。
- ・ 家具や小物等を製作する木工部門では、障がいを持つ若者も雇用。
- ・ 若者の意欲と健康状態を考え、各部門に適正配置することで雇用の定着を促進。
- ・ 地域との連携を促進するため、道の駅や温泉等で木工品を販売したところ、それを見た地元の若者から問い合わせが増加。

- ・ 山林部の従業員は6名にはFW※及びFL※の取得を奨励している。
- ・ ユースエール認定は、地元である栗原市での就業を希望する高校生等の若者に対して、自社の取組を紹介する目的で取得。

5 おきた林業祭について

- ・ 興田地区振興会は、身近な地域課題の解決等を進める地域協働体として発足。
- ・ 令和6年から、地域の森林・林業の活用を目的に、「林業ってかっけー」をコンセプトとした「おきた林業祭」を開催。
- ・ 林業祭では、チェーンソープロ機体験、チェーンソーアート、ツリークライミング、林業機械体験、餅まき、キッチンカーによる販売などを実施。
- ・ 森林が身近な住民から「とても良いイベントだった」と、開催後に多数の反響。
- ・ 令和7年は、昨年より多くの地域内外の林業のプロの協力を得て、イベントの種類を増やした「おきた林業祭」を開催。

6 今後の取組

普及班では、今後も岩手県林業研究グループ連絡協議会と共催で指導林家等研修会を開催し、地域林業のリーダー的役割を担う指導林家等の資質向上を支援します。



写真3 おきた林業祭での集合写真



写真4 プロ仕様のチェーンソーによる輪切り体験

※ FW：フォレストワーカー、FL：フォレストリーダー